

大手前 中・高等学校

オーバーナイトウォーク に参加して

大手前 中・高等学校 教諭 藤井 寿



本校の伝統的な学校行事の一つにオーバーナイトウォークというものがあります。夜を通して歩く行事なのでオーバーナイトウォークとか夜行軍というように呼ばれています。その目的は①未知の体験をすることで体力・精神力を養い、校内では学べない知識や態度を学ばせる。②自主的に行動できる人間育成の場として、協力する心や助け合う心を育む。③学年を越えて親睦を深め、規律ある集団行動により社会生活の中でのルール・マナーを身につけさせる。④ボランティア活動を通して、公共心・公德心を育てるの4つです。今年も3月19日(土)の夕方から翌日朝にかけて神戸のモザイク広場から学校までのコース(約42km)で実施しました。中1から高2まで生徒94名、保護者5名、教員

32名の総勢131名がこの行事に参加しました。午後6時半、モザイク広場に集合し、そこで全員でゴミ拾いをしてからスタートしました。スタート時の生徒達は、未知の体験に挑戦する高揚感と不安感が入りまじったいい表情をしていました。私は先頭を歩いていたのですが、最初の10km程は、歌声や話し声が後ろの方から聞えてくるくらい全員元気に歩いていました。しかし10kmを越えたあたり、時間にして11時過ぎくらいから話し声も聞えなくなり、生徒達はただもくもくとひたすら歩くことだけに集中する様になってきました。赤信号で止まった時も、地べたに座りこんでしまう生徒がだんだんと多くなっていました。やっとのことで20km地点のロイヤルホストにたどり着き、そこで温かいスープと軽い夜食をとりました。その時点ですでに2時をまわっていました。生徒達も今まではりつめていた緊張感・集中力が一気にきれてしまった様で、どのテーブルを見ても全員顔を伏せて寝ていました。それでも気を奮いたたせ出発しましたが、淀川大橋を越えるあたりでは生徒達も教員も歩きながら寝ている様な状態で、気力のみで歩いていました。そしてやっとのことで天満橋駅までたどり着くと、もうあと少しだということ生徒達の顔にも元気が戻ってきました。最後の力をふりしぼって学校に到着すると、そこには保護者の皆様方や先生方が温かく迎えてくれましたので今までの疲れも一気に吹き飛びました。食堂で温かい豚汁とおにぎりを食べている生徒達の表情には、疲れきってはいましたが42kmを歩きぬいたという達成感で満ち溢れていました。その表情から、生徒達がこの行事をとおして大きく成長し、この体験が生徒達の自信となったことを私は確信しました。最後に、このオーバーナイトウォークを支えてくれた保護者の皆様方や先生方のご協力に感謝申し上げます。

57期 中学2年 ベンチャーコース

愛知万博に参加し

大手前 中・高等学校 教諭 富来 豪

去る2005年1月7日～9日に北海道小樽市で開催された、『キッズ・アントレ・チャンプ』(北海道小樽市・日本経団連などの主催・後援)で見事優勝したグループの一員として、本校中学2年橋本豊・日賀井里沙が、3月25日から開幕した『愛・地球博』(自然の叡智をテーマ)に参加してきました。3月26日、瀬戸会場の市民パビリオンにて作品(中学生は自然にやさしく、使える運ぶものというテーマ)を展示し、一般の人たちに作品を評価してもらい、その後奨学金の贈呈式が行われました。贈呈式は、奨学金を出していただけるオーナー様からの質問に子どもたちが答えるというもので、緊張した様子もありましたが、スムーズに会話することができたのではないかと思います。こういった機会をきっかけに、今後も起業家プログラムに積極的に取り組んで欲しいものです。

そして2006年3月に第2回目の全国大会が横浜で開催されます。この大会でも優勝できるよう、またがんばっていききたいと思います。

